

恒温槽付振動試験機

製品や部品を開発する過程では、機能や性能を確認するためのさまざまな検査が必要ですが、その中の一つが振動試験です。振動試験が必要とされる製品は多岐にわたり、例えば自動車や鉄道車両で使用される電気・電子部品、機械部品をはじめ、製品が輸送中に受ける振動を対象とした梱包の試験も行われています。

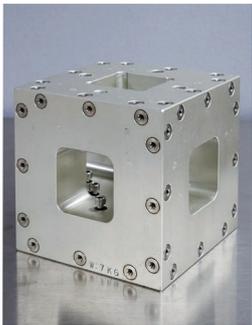
恒温槽付振動試験機では、製品が高温や低温環境で使用されることを想定した複合環境(温度と振動)での評価を行うことができます。



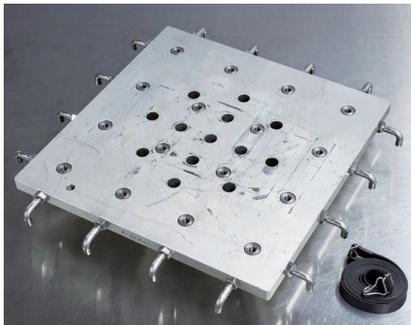
試験の概要

試験を行う際には、立方体治具または加振台に製品を固定します。振動試験機は上下方向のみに動きますので、3方向(x, y, z軸)に振動を加えたい場合は、立方体治具を使用します。

立方体治具には200 mm×200 mmまでの試験品を取り付けることができます。一方、加振台は最大で600 mm×600 mmのサイズとなっており、段ボール箱を固定する場合などに用います。



立方体治具



加振台

活用事例

電気・電子部品の動作確認試験

振動試験には、振動を与えた後に製品の破損や故障の有無を評価する耐久試験のほかに、製品に振動が加わっても正常に動作し続けるかを確認する機能試験があります。このような試験では、瞬断検出器を併せて利用すると、振動による瞬断の有無を評価することができます。恒温槽の側面には通線孔が設けられていますので、恒温槽内の製品に配線することが可能です(必要なケーブルは別途ご用意ください)。



瞬断検出器
瞬断検知幅：0.1 ~ 99.9 μ sec

S P E C & P R I C E

主な仕様

項目	仕様
加振力	6 kN (正弦波)
加振振動数範囲	5 ~ 300 Hz ※条件により振動数範囲は変わります
最大搭載質量	15 kg 程度
恒温槽内寸法	700 mm × 700 mm × 700 mm
温度範囲	推奨：-20℃ ~ 90℃ (最大：-40℃ ~ 150℃)

機器利用料金表

項目	中小企業	一般
振動試験装置(加振力10 kN未満) [1件1時間につき]	1,326円	2,653円
恒温恒温槽 [1件1時間につき]	1,100円	1,265円
瞬断検出器 [1件1時間につき]	226円	452円
機器利用指導 [1件30分につき]	1,110円	2,221円

お問い合わせ：実証試験セクター〈本部〉 TEL 03-5530-2190